

## 「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加します

2022年4月11日  
積水樹脂株式会社

積水樹脂株式会社（本社：大阪市北区 代表取締役社長 兼 CEO：馬場浩志）は、生物多様性保全活動の一環として、2022年4月に設立された「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加しますので、お知らせいたします。

### ■「生物多様性のための30by30アライアンス」

生物多様性の損失を食い止め、回復させるための新たな国際目標である

「30by30」※の達成を目指し、環境省が中心となり行政、企業、NPOなどに呼びかけて設立した有志連合です。

#### 【主な取り組み】

- ・保護地域（国立公園など）の更なる拡充・管理
- ・企業林、里地里山など様々な主体によって守られてきた生物多様性保全に貢献するエリア（OECM：Other Effective area based Conservation Measures）の国際データベース登録・保全の促進
- ・これらの取り組みを積極的に発信



※「30by30」（サーティ・バイ・サーティ）

**2030年までに、陸域と海域の少なくとも30%を保全することを目指す国際目標**

<環境省による発表> <https://www.env.go.jp/press/110887.html>

<30by30アライアンスサイト> <https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/>

### ■当社グループの取り組み

当社滋賀工場の事業所内には、全国的に減少している貧栄養湿地が複数箇所残っており、そこには環境省や滋賀県において絶滅危惧種に指定された希少な動植物が多数生息しています。これらを「保全エリア」に設定し、専門家による生きもの調査や自然環境を守るための活動に継続して取り組んでいます。今後も、「生物多様性のための30by30アライアンス」の活動を通じて30by30の達成へ貢献するとともに、当社グループ環境貢献活動の拡大、取り組みの情報発信などに鋭意取り組んでまいります。



当社グループは、生物多様性の保全を重要性の高い課題ととらえ、2010年より継続して環境省とともに「国連生物多様性の10年日本委員会」の活動を支援してまいりました。今後も引き続き、同委員会の後継組織である「2030生物多様性枠組実現日本会議」（J-GBF）の活動を支援してまいります。